



きょうかいを いかす ビッグ ニュース!

黙示2:9

「わたしは、あなたの苦しみと貧しさとを知っている。——しかしあなたは実際は富んでいる——またユダヤ人だと自稱しているが、実はそうでなく、かえってサタンの会衆である人々だから、ののしられていることも知っている。

びっくりするニュースがあります。サタンの戦略があらわれたようです。そうえす。目に見えないように通いながら家庭を倒そうとして、私住んでいる地域に入ってきて、墮落文化（ネフィリム）をまき散らして、目に見えることにだけ執着するようにさせて霊的な目を開かないようにさせ、家庭と地域を生かす唯一の希望である教会にまで食い込んできたということです。

超強カミサイルを撃っても、核兵器を撃ってもサタンはまったく恐れられません。このようなサタンのしわざを防いで倒せる御名はイエス・キリストだけです。神様はこの奥義を持ったレムナントを通して家庭と社会と教会を生かすことを願っておられます。このために、レムナントに重要な話をされました。一日に10分ずつサタンに勝つイエス・キリストとみことばに集中しなさいと言われました。このとき、レムナントにひそかに大きな力をくださるでしょう。力を受けて、牧師先生を助けて教会に力を与える主役になりなさいと言われました。一日10分で世界を生かしてみましよう。

3 Today

きょうのみことば
れきだい17

きょうのいのり

きょうのでんどう

せいしよ100かしよを おぼえよう(6)

サタンははじめから人間が神様のみことばに不信仰になるようにだましました。どのように人間をだましたのか創世記3章 5～6節をおぼえて黙想しましょう。



あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」そこで女が見ると、その木は、まことに食べるのに良く、目に慕わしく、賢くするというその木はいかにも好ましかった。それで女はその実を取って食べ、いっしょにいた夫にも与えたので、夫も食べた。(創世記3:5-6)



サタンにだまされて傷ついている家庭の姿をたくさん見ます。しかし、教会まで力がありません。10分ずつキリストに集中して、神様がくださる力で家庭と教会を生かすレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



わたしは ぶんかを いかす
しゅやくです

ピリピ 4:13
わたしは、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。

偶像崇拜の家庭でくらしていたアブラハムに神様が訪ねてこられ「キリストと世界福音化」という契約をくださいました。アブラハムの息子イサクは、自分のいのちの代わりに雄羊が備えられていた事件を体験して、キリストの契約を心深くに刻みました。イサクの孫ヨセフは、大切な福音を祈りと賛美で味わいました。神様とともにいたヨセフは、エジプトの文化を回復しました。400年後、エジプトで奴隷生活をしていたイスラエルにモーセが福音をもって現れました。エジプトにイエス・キリストの血の力を現わしながら偶像文化を打ち砕きました。

聖書をまちがって教えて福音が消えた中世時代に、レムナントのルターが福音を発見しました。「ただイエス、ただ信仰」という福音を持って出てきて宗教文化を打ち砕きました。そののち、また福音が消えて偶像文化が世の中をごちゃごちゃにしています。レムナントが立ちあがって「ただイエス・キリスト」で文化を生きさなければなりません。契約の流れを心の深くで黙想しながら、一生の祈りの課題を握る日になるように願います。

Today
3

きょうのみことば
ねきだい18

きょうのいのり

きょうのてんどう

ヨセフのいのり

ヨセフが奴隷で売られて行って、監獄に行って、王宮に入って行ってしたいの祈りがあります。どんな祈りをしたから、すべての文化を生かすことができたのでしょうか。ふきだしに書きましょう。

兄たちに奴隷で売られたとき
ヨセフはどんな祈りをしたかな？

ヨセフはポティファルの家で昼も夜も休まず仕事をしました。どんな祈りをしたかな？

ヨセフは、くやしい監獄に行ったとき
どんな祈りをしたかな？

ヨセフは、王宮で総理になったとき
どんな祈りをしたかな？

この世はすっかり偶像文化と宗教文化、悪霊文化でいっぱいです。ヨセフのように、モーセのように、ルターのように、福音で文化を生かす主役でして用いられますように。イエス・キリストのおなまえによっておいのりします。アーメン



まちがいのないじじつです

使徒1:14

この人たちは、婦人たちがイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

このごろは、携帯電話やコンピュータの技術がものすごくはやく発達しています。1年だけ過ぎてても技術の差がとてとたくさんあります。科学や技術ははやい速度で発展するのに、不思議に精神病の患者はさらに多くなり、犯罪行為はもっと悪くなっていっています。神様はこういう世の中をおいて、まちがいない事実を明らかにしておられます。

最初に、地球は不信仰と罪とサタンでぎっしり埋まりました。二つ目、日が過ぎれば過ぎるほど、暗やみ、混とん、むなしさはもっと深刻になるでしょう。三つ目、解決方法はただイエス・キリストを信じるだけです。四つ目、神様が全世界のあちこちにレムナントを立てて、レムナントを通じてイエス・キリストを伝えられるでしょう。五つ目、レムナントは、今日のみことば、祈り、伝道によってアイデンティティー（自分は何だかということ）を発見して、毎日、聖霊の力を持ってばよいのです。最後に、神様は永遠に聖霊でレムナントといっしょにおられて働いておられます。六つの事実を記憶しながら幸せな一日を味わいましょう。

3 Today

きょうのみことば
れきだい19
いぢにちししやうからんごのみことばをよむ

きょうのいのり

きょうのでんどう

2011.11.29 伝道弟子訓練メッセージ

こどもでんどうトラクト

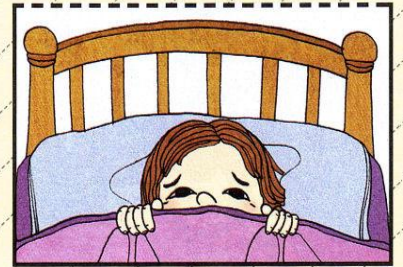


つぎのページと おもてと うらで はりあわせて つかって ください。

のりづけ

「パパ、ママがけんかします
勉強がむずかしいです
ゆううつです。なぜ生きて
いるのでしょう
毎日、こわい夢をみます

のりづけ

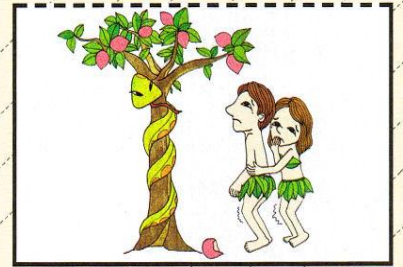


のりづけ

のりづけ

もともと人間は神様といっしょにいれば幸せです。ところが、人間がサタンにだまされて、神様のみことばに聞き従わない事件が起きました。人間は、神様を離れて原罪のろいの中に生きようになったのです。

のりづけ

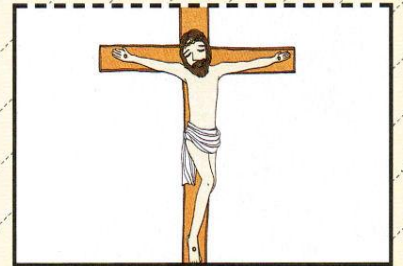


のりづけ

のりづけ

人間の問題を解決するために、神様がイエス・キリストとして、この地に来られました。

のりづけ



のりづけ



神様、この世を霊的な目で見ることができるようになってくださって感謝します。いつも私の味方になってくださり、人を生かす伝道者として立てくださる神様をさびびます。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

おともだちへ、ひみつのおはなし、
きいてくれる？

いま、なにが
なやんでいることは
ないかな？



ほんらいの人間はね・・・



だったら
どうしたら
しあわせに
なるのかな？



イエスをキリストとして信じて受け入
れば、あなたも救われるよ。
イエス様は神様に会う道である
まことの預言者で
原罪ののろいから解放させる
まことの祭司で
サタンのしわざを打ちこわした
まことの王である
キリストとして来られました。

<受け入れの祈り>

愛の神様、私はサタンにだまされて神様に
離れた罪人でした。そのような私たちのた
めに神様に会う道であり、罪の原理からい
ちへ移してくださり、サタンの権威に勝たれ
た、イエス・キリストで
あることを信じます。
いま、私を神の子と
して下さって、私の
主人となしてください。
感謝して、イエス・
キリストのお名前
によっておいのりします
アーメン



父なる神様、私は唯一の答えを持って、すべてのことを祝福にする人です。心の病を持って
いる人を福音で生かす伝道者として生きていきたいです。イエス・キリストのお名前によ
っておいのりします。アーメン



わたしは ことえを もっている ひと

ローマ 16:17~20

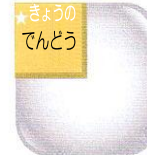
あなたがたの従順はすべての人
に知られているので、私はあなた
がたのことを喜んでます。しか
し、私は、あなたがたが善にはさど
く、悪くにはうとくあってほしい、と望
んでいます。(19)

親から離れてしまった子どもは、不安でいらだち、恐れが
あります。こういう子どもが勉強で1番になっても、とてもたくさんの
お金を持っていても、どんなものを持っていても、心の病気はなお
りません。根が抜けてしまっしおれてしまった木を地に植えれば、ま
た生き返るように、親から離れてしまった子どもは、親に会えばす
べてのことが解決されます。

神様に会えなくて、人間の心が病気になるました。不安に思っ
て恐
れて、いらいらして、神様を知らないで偶像を作って仕えておじ
ぎ
をして、そうするうちに結局、精神的な苦しみに陥るようになり
ます。のちには、生活が崩れて一緒に暮らす人にも苦痛を与えるよう
になります。

神様に会う道はイエス様だけです。それで、福音を持った人が行く道
は唯一の道なのです。福音を伝える人はすべてのことを祝福にする人
です。心が病気の友だちに唯一の道をこっそりと伝えてみましょう。

3 Today



ミッションホーム さくひんの げんば

詩78:72
 彼は、正しい心で彼らを
 牧し、英知の手で彼ら
 を導いた。

ここは牧場です!

羊を飼う子どものダビデが誠実に羊をよく世話しています。羊たちが草を食べている間、ダビデは主のみことばを黙想しながら、祈って賛美しています。神様の霊に満たされて、とても幸せで堂々としているように見えます。今は詩を書いています。さらさらよく書いていくように見えます。

しばらく、時間をほかの所に移してみましょう。ここではダビデは、だれかに追われているようです。洞窟に入って静かに隠れています。サウル王がダビデを殺そうと軍人のおじさんたちといっしょに歩き回っています。ところで、こういう状況でも、ダビデは神様に向けて詩を書いています。それでは、また別の場所に移ってみましょう。この現場では、髪の毛が白くなったおじさんダビデ王の姿が見られます。幼い時期からおじさんの時期まで変わりなく、神様を愛して詩を書いています。あれ?この詩がのちに詩集として集められて、詩篇という聖書になったのですね!この多くの詩がいまも福音を悟らせて、力を与えるのです。いまはみなさんの福音を味わう作品を現場につなげましょう!

3 Today

★きょうのみことば
 れきだい21
 *いのち1しゅう
 *かなさるのみことばをよめ!

★きょうのいのり

★きょうのてんどう

新聞の文字が小さくて訳すことができませんでした。すみません (翻訳者)



レムナントの がくいんふくいんが さくひん

11月学院福音化ゼカリヤでミドウム教会のレムナントが新聞を作りました。レムナントの作品を見て、みんなも作品をのこしていきましょう。

김하린 기자

미래를 밝히는 누구인가?
 나의 인생에...
 나의 꿈...
 나의 사랑...
 나의 희망...

문중훈 기자

스기라의 단독 연행...
 나의 기도...
 나의 사랑...
 나의 희망...

문중건 기자

스기라의 말씀...
 나의 기도...
 나의 사랑...
 나의 희망...

김성린 기자

나의 기도...
 나의 사랑...
 나의 희망...

交なる神様、ダビデのように子どものときから神様を黙想して、神様に賛美して作品をのこさせてください。ずっと先になって、この作品で子孫が福音を悟ることができますように。イエス・キリストのお名前によっておいのります。アーメン

2012年 03月 土曜日

おはなし もくそう

ていこくはいはい
はいこうした
チェックしよう

17日

つみの ゆえに ねられません

セーラは気がぬけた顔でとぼとぼと家に戻りました。セーラの力がいない姿にママが心配して尋ねました。

「セーラ、なにかあったの？」

セーラは、泣きそうになって話しました。

「ママ、私、罪を犯したの。私が投げた野球のボールがジェファーソンおじいさんのガラスの窓を割ったの。おじいさんが許してあげると言ったけれど、自分の罪は本当に許せない罪だと思ふの。どうしたら良いの」

「おじいさんが許してあげると言われたのでしょうか。あとから感謝のあいさつに行かないとね。許して下さると言われたのだから、これから気をつければ良いでしょう。」

ママの助言を聞いてもセーラは罪を犯したという考えで、一週間ずっとご飯もあまり食べられませんでした。

かくれている絵をさがそう(ラッパ、数字の4、アルファベットのR、魚、定規)

ある日、セーラに贈り物が来ました。セーラがそっと取り出したら、ジェファーソンおじいさんが送った野球のボールでした。

「セーラ、私はすでにあなたを許したよ。そのような意味で、新しい野球のボールを贈り物にあげるね」

セーラはふしぎに思いました。自分の罪も許してくれて、贈り物までくれるのでしょうか。おじいさんのメモには、このような話が続いていました。

「セーラ、神様も同じだよ。イエス・キリストによって、私たちのすべての罪を許されただろう。それだけでなく、多くの霊的祝福を贈り物でくださったのだよ。だから罪の意識を持たずに思いきり味わいなさいね」

セーラはうるんだ目で、すべての罪を許して下さった神様に感謝したのでした。

★きょうのみことば
れきだい22
★ いのちの1しゅう
めいさの みことば よろ!

★きょうのいのり

★きょうのてんとう

